

東京大学附属図書館 概要

2024/2025



表紙:『松乃栄』(総合図書館所蔵:東京帝国大学五十年史資料の内)

「松乃栄(まつのさかえ)」は「旧幕府の姫君加州家へ御輿入の図」という副題を持つ資料で、総合図書館に貴重書として所蔵されています。

この資料は、文政10(1827)年に徳川第11代将軍家斉の第21女・溶姫が加賀藩第13代藩主前田斉泰に輿入れしたときの様子を、三代歌川国貞が想像を交えて描いた錦絵です。東京大学のシンボルの一つである「赤門」は、このとき溶姫を迎えるため建立されたもので、白無垢の花嫁衣裳に身を包んだ溶姫が、豪華な行列を従えて赤門をくぐる図は当時の華やかさを今に伝えています。もっとも、この資料は明治22年に描かれたもので、明治22(1889)年は家康が江戸へ入府した天正18(1590)年から数えて三百年に当たり、東京開市三百年祭が営まれた年であったため、溶姫の輿入れが描かれたと考えられます。東京大学にとっては、赤門の由来を伝える貴重な絵画史料と言えます。

この資料は「東京大学デジタルアーカイブポータル」でご覧いただけます。

<https://da.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/portal/collection/matsunosakae>



館長あいさつ

東京大学附属図書館の蔵書は、2023（令和5）年度に1,000万冊に達しました。1,000万冊の蔵書を持つ大学図書館は、国内初となります。

東京大学には、総合図書館、駒場図書館、柏図書館という3つの拠点図書館と、学部・研究科や研究所等にそれぞれ設置されている27の部局図書館・室があります。これら30の図書館・室が一体となって「共働する一つのシステム」としてサービスを提供しているのが「東京大学附属図書館」であり、蔵書数1,000万冊は附属図書館30館の蔵書の合計です。



東京大学附属図書館のはじまりは、1877（明治10）年に神田一ツ橋の法理文三学部の構内に設けられた図書館です。三学部の蔵書約28,000冊と予備門の蔵書約26,000冊を合わせ、およそ54,000冊の蔵書を有していました。また、医学部には東京医学校から引き継いだ書籍室がありました。以来、学部・研究科や研究所等が新設され大学組織が拡大していく中で、各部局に図書館が設置されましたが、1923（大正12）年には関東大震災に見舞われ多数の蔵書が灰燼に帰しました。1928（昭和3）年に多くの支援を受けて現在の総合図書館が再建されてからも、太平洋戦争中には一部のキャンパスで空襲の被害を受け、複数の部局で蔵書疎開も行われました。戦後には東大紛争による封鎖を余儀なくされ、東日本大震災による被害などもありました。

この間、全学における学習・教育および研究活動を支援する使命は変わらないものの、附属図書館に求められる役割や機能は大学の発展や社会環境と共に変化し、そして多様化しています。これまで附属図書館では、基盤的な学術情報を安定的に整備するため、学術雑誌等の購入経費の全学共通経費化を実現し、また、学習・教育に資する学生用図書の充実にも努めてきました。紙の蔵書を拡充整備するとともに、電子リソース（電子ジャーナル・電子ブック・データベース）の整備も行っていますが、いつでもどこからでも利用できるその利便性はコロナ禍により再認識され、今後一層の充実が求められています。

さらに、本学で創出される世界水準の研究成果を国内外に広く発信し、社会に還元するために、学術機関リポジトリ「UTokyo Repository」を構築・運営し、学術論文等の公開・オープンアクセス化にも力を入れています。2023（令和5）年2月に東京大学の研究データ管理・利活用ポリシーとオープンアクセスポリシーを策定しましたが、2024（令和6）年2月には国の方針も策定され、オープンサイエンス・オープンアクセスの推進における図書館の役割が再認識されているところです。

また、東京大学が保有する学術資産を電子化し発信するデジタルアーカイブズ構築事業を進めています。学術の多様性を支える基盤の強化を目指し、全学の部局と連携してデジタルアーカイブを構築することにより、時と場所を選ばず本学の豊かな学術資産にアクセスできる環境を整えることに力を注いでいます。

こういったデジタルデータと、蔵書という伝統的な資料が共存していることが、図書館の価値を高めてもいます。東京大学の基本方針「UTokyo Compass」の根底には文理融合や東西融合の考え方がありますが、図書館はこれらに加えて伝統と革新の融合と言えましょう。どちらが欠けても東京大学附属図書館は成立しません。

東京大学附属図書館は、知の協創の世界拠点としての東京大学の研究・教育活動の基盤としての役割を果たし、その学術資産を新しい形で社会に還元すべく、今後もこれらの整備と提供に邁進して参りたいと存じます。利用者の皆様には図書館を活用いただくとともに、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

東京大学附属図書館長
坂井 修一

東京大学図書館憲章

2006(平成18)年3月制定

東京大学は、東京大学附属図書館を、学習、教育及び研究のために不可欠な全学組織として設置し、人類の知的遺産の収集、保存、整理及び新たに創出される学知の世界への発信の拠点とする。

この務めを果たすべく、東京大学附属図書館は、本学における学習、教育及び研究活動を支える学術情報基盤としての役割を担うとともに、わが国における学知の収集、保存及び発信の中心の一つとして、全国の学術研究基盤の充実に貢献し、更に国際的な連携・協力のセンターとして、世界の学術機関との学術情報交流を行なうことにより、世界の学術コミュニティに奉仕する。

東京大学附属図書館の使命

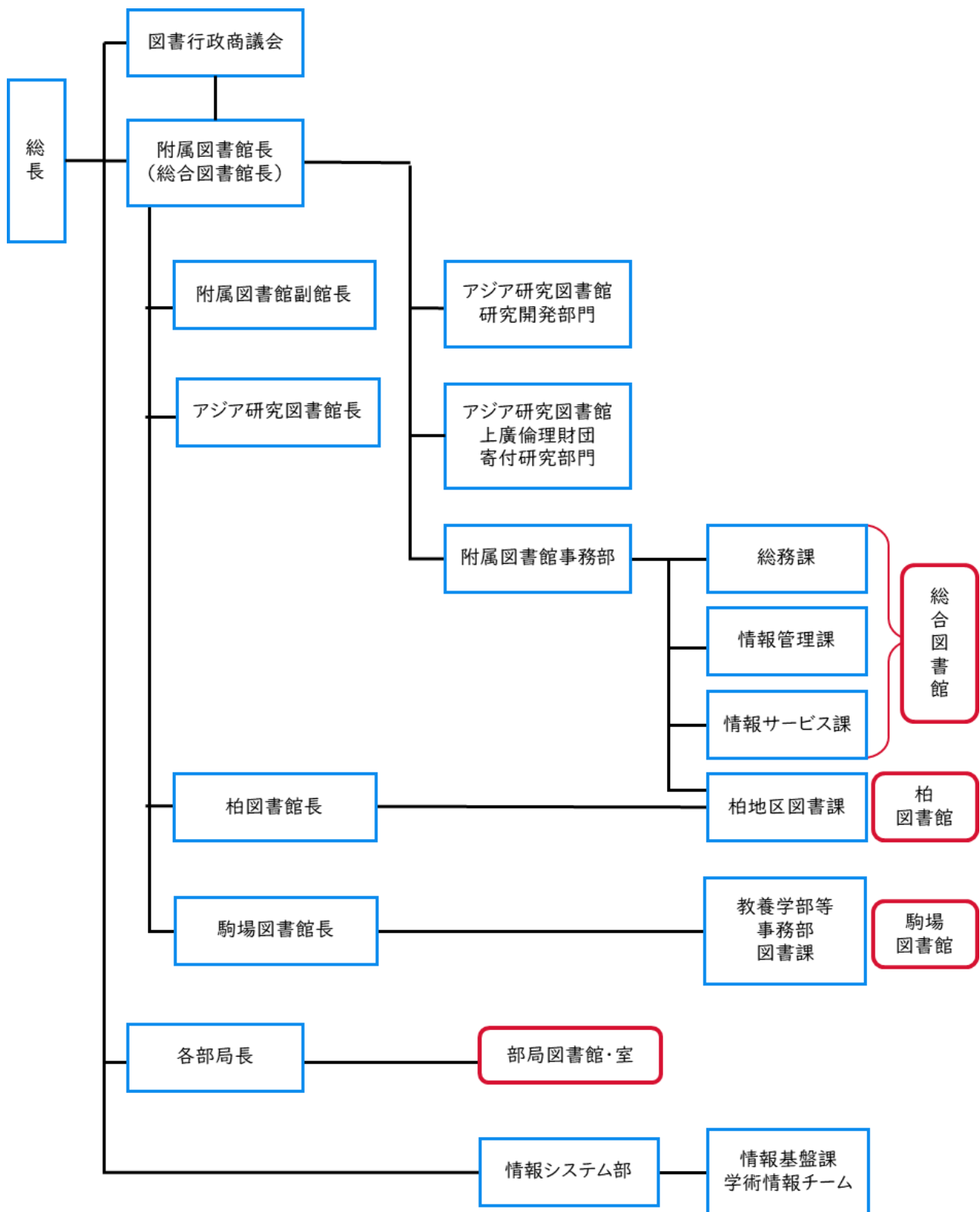
1. 東京大学附属図書館は、学習支援機能、研究支援機能及び保存機能を併せ持つ。総合図書館、駒場図書館、柏図書館は、本学の全ての学生に対して学習、総合的教養修得及び知的人格形成の場を提供し、もって各キャンパスにおける学習支援機能の中心的な担い手となる。部局図書館は、主に、本学における研究を支援するとともに、各部局の特性に応じて学習支援機能をも担う。
2. 東京大学附属図書館は、本学における学習、教育及び研究の発展のために必要な各種の学術情報を収集、保存、整理し、資料の性質に応じて可能な限り広く本学内外の利用に供するとともに、所蔵する人類の貴重な知的遺産を責任をもって次の世代に伝える。
3. 東京大学附属図書館は、本学の全ての学生に対し、学習及び教養修得のために必要な各種の学術情報を提供し、それを有効に活用しうるための施設、設備、スタッフ及び情報を整備する。
4. 東京大学附属図書館は、増大する世界の学術情報を本学の全ての構成員が共有し、有効に活用しうるよう、専門的能力の向上及び情報システムの高度化のために不断的努力を行なう。
5. 東京大学附属図書館は、蓄積された各種の学術情報と、それを有効に活用するための専門的知識を、適切な形で国内外に向けて発信する。



東京大学附属図書館の蔵書は、2023(令和5)年度に1,000万冊に達しました。これを記念して「東京大学附属図書館 蔵書1000万冊記念 1000万冊のストーリー」と題した広報事業を展開し、特設サイトを公開しました。

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/html/special/10MVolumes/>

附属図書館組織図



東京大学附属図書館について

東京大学には、本郷地区キャンパスの総合図書館、駒場地区キャンパスの駒場図書館、柏地区キャンパスの柏図書館という3つの拠点図書館があり、加えて学部・研究科や研究所等にそれぞれ設置されている27の部局図書館・室があります。これら30の図書館・室が一体となってサービスを提供しているのが「東京大学附属図書館」です。

多数の図書館・室からなる附属図書館は、「共働する一つのシステム」であることを理念に掲げ、東京大学における学習・教育・研究活動を多面的にサポートしています。

本郷地区キャンパス

〈拠点図書館〉 総合図書館 <https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/general>

総合図書館は歴史的に貴重な資料から最新資料まで幅広く所蔵しており、蔵書数や年間受入雑誌数等も附属図書館の中では最大規模です。2020（令和2）年度に、約10年に及ぶ耐震改修工事が完了し、新たな知の拠点として、学習・教育・研究を支援する機能の充実を図っています。



本郷地区キャンパスの部局図書館

- 法学部研究室図書室
- 大学院法学政治学研究科附属近代日本法政史料センター（明治新聞雑誌文庫）
- 医学図書館
- 工学・情報理工学図書館
 - エ1号館図書室A（社会基盤学）
 - エ1号館図書室B（建築学）
 - エ2号館図書室（機械系、精密工学、電気系、総合研究機構）
 - エ3号館図書室（システム創成学、原子力国際、技術経営戦略学、原子力、化学・生命系）
 - エ4号館図書室（マテリアル工学）
 - エ5号館図書室（化学・生命系、バイオエンジニアリング）
 - エ6号館図書室（物理工学、計数工学、数理工学、システム情報学、創造情報学）
 - エ7号館図書室（航空宇宙工学）
 - エ14号館図書室（都市工学）
 - 理7号館図書室（コンピュータ科学）
- 大学院人文社会系研究科・文学部図書室
- 理学図書館
- 農学生命科学図書館
- 経済学図書館
- 大学院教育学研究科・教育学部図書室
- 薬学図書館
- 大学院情報学環・学際情報学府図書室
- 大学院情報学環附属社会情報研究資料センター
- 地震研究所図書室
- 東洋文化研究所図書室
- 社会科学研究所図書室
- 史料編纂所図書室
- 総合研究博物館図書室



エ1号館図書室B（建築学）



理学図書館

駒場地区キャンパス

〈拠点図書館〉駒場図書館 <https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/komaba>

駒場図書館は2002（平成14）年10月に開館し、前期課程の学生にとって中心的な図書館となっています。自然光を採り入れた光廊下と開放的なラウンジが特徴の館内には、幅広い分野にわたる蔵書約70万冊と約1,100席の閲覧席を備えています。



駒場地区キャンパスの部局図書館

- 大学院総合文化研究科図書館（駒場図書館と兼ねる）
- 大学院総合文化研究科自然科学図書室
- 大学院総合文化研究科附属グローバル地域研究機構アメリカ太平洋地域研究センター図書室
- 大学院数理科学研究科図書室
- 生産技術研究所図書室
- 先端科学技術研究センター図書室



数理科学研究科図書室



先端科学技術研究センター図書室

柏地区キャンパス

〈拠点図書館〉柏図書館 <https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/kashiwa>

柏図書館は2005（平成17）年に開館し、蔵書数約47万冊のほか自然科学分野の雑誌のバックナンバーを集中的に収納する自動書庫を併設しています。館内のコミュニティサロンやメディアホール等の設備とあわせ、柏地区キャンパスの学生・教職員はもとより、学内の図書館ネットワークを通して全学へのサービスを行うとともに、友の会などを通じた地域社会との連携にも積極的に取り組む開かれた図書館です。



柏地区キャンパスの部局図書館

- 宇宙線研究所図書室
- 物性研究所図書室
- 大気海洋研究所図書室

白金台キャンパス

白金台キャンパスの部局図書館

- 医科学研究所図書室

各図書館・室の利用案内や開館日・開館時間などは、附属図書館ウェブサイトの「図書館一覧」をご覧ください。

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/contents/guide>



主なコレクション・文庫

各図書館・室が所蔵するコレクション・文庫から、主なものをご紹介します。

- ✓ 資料の利用については、各図書館・室へ直接お問い合わせください。
- ✓ 附属図書館ウェブサイトでは、ここに掲載していないコレクション・文庫も数多く紹介しています。

附属図書館ウェブサイト>図書館概要>コレクション

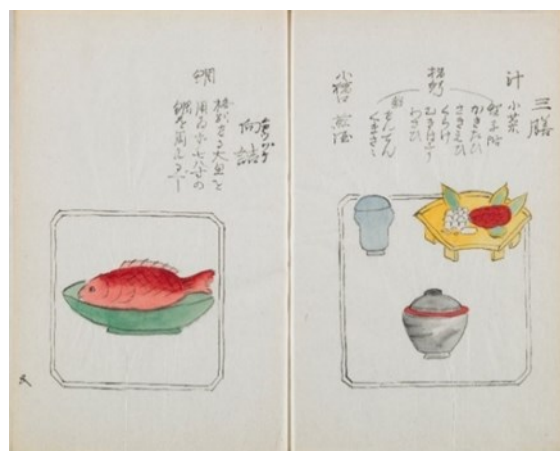
https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/contents/about/all_collection



名称	点数	概要
総合図書館		
南葵文庫	約96,000	紀州徳川家の旧蔵書であり、様々な個人文庫の集積ともいえる。徳川慶喜の揮毫による額も残されている。
鷗外文庫	約19,000冊	森鷗外(1862-1922)の旧蔵書。歴史、文学書を中心とし、伝記や江戸古地図の他、ドイツ留学中に収集したと思われる洋書など。
連歌俳諧書集成 (洒竹／竹冷／知十文庫)	約6,600	俳人の大野洒竹(1872-1913)、角田竹冷(1857-1919)、岡野知十(1860-1932)それぞれが収集した連歌俳諧書。
田中芳男文庫	約6,000	明治期の博物学者、男爵である田中芳男(1838-1916)の収集した博物学及び博覧会関係資料など。
東京帝国大学 五十年史料	約470	『東京帝國大學五十年史』(1932年刊)編纂にあたって収集された資料群。うち317点は、「東京大学史関係資料」として2013年に重要文化財に指定されている。
サンスクリット 写本	約540	高楠順次郎(1866-1945)がネパールで、河口慧海(1866-1945)がネパール及びチベットで収集した仏教写本。
医学図書館		
ワルダイエル 文庫	約4,000	ドイツの解剖学者であるワルダイエル(Wilhelm von Waldeyer-Hartz, 1836-1921)の旧蔵書。
呉秀三文庫	約300	精神医学者であり、医学部名誉教授でもある呉秀三(1865-1932)の旧蔵書。

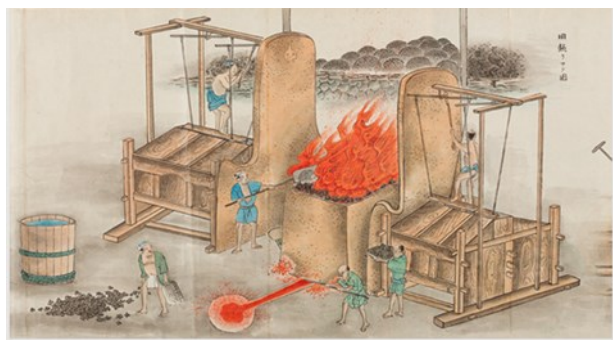


「犬追物圖説」南葵文庫(総合図書館)

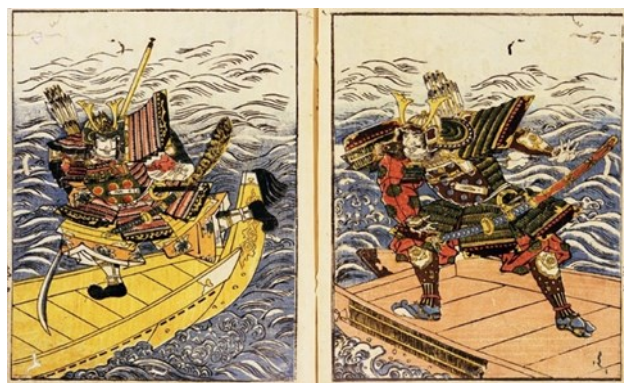


「膳部之事」鷗外文庫(総合図書館)

工学・情報理工学図書館		
古市公威文庫	397	帝国大学工科大学初代学長であり、初代土木学会長も務めた古市公威(1854-1934)のフランス留学時代の授業ノートや演習図面などの資料、蔵書など。(工1号館図書室A所蔵)
ウェスト文庫	単行本251冊、 製本雑誌5タイトル 149冊、 旧蔵ノート22冊	アイルランドの機械工学者、造船学者でお雇い外国人教師であった、チャールズ・ディキンソン・ウェスト(Charles Dickinson West, 1847-1908)の旧蔵資料。(工2号館図書室所蔵)
鉾山絵図・絵巻 コレクション	絵巻5、 絵図4	佐渡相川金銀山(新潟県佐渡市)、閉伊郡金沢村金山(岩手県大槌町)、先大津阿川村(山口県下関市)の絵巻、敷岡絵図、振矩絵図など。特に「先大津阿川村山砂鉄洗取之図」は、たたら炉による製鉄など当時の最先端の鉄鋼産業を紹介したものとして高い評価を得て、教科書などにも紹介されている。(工3号館図書室所蔵)
野呂文庫	124	明治15(1882)年の卒業生で、日本鉄鋼協会初代会長を務めた野呂景義(1854-1923)の旧蔵書。(工4号館図書室所蔵)
大学院人文社会系研究科・文学部図書室		
本居文庫	約3,800	本居大平(宣長の養嗣子)の系統に伝わった資料の一部。宣長の自筆資料をはじめ本居家子孫の草稿・版本を多数含む。マイクロフィルム『本居文庫:東京大学所蔵』(東京大学国文学研究室編 雄松堂出版)に収録。
市河文庫	約1,200	市河三喜(1886-1970, 英文学者・東京帝国大学名誉教授)の旧蔵資料。19世紀末~20世紀初頭の英語学・言語学関係洋書。
経済学図書館		
アダム・スミス文庫	319	アダム・スミス(Adam Smith, 1723-1790)の旧蔵書。
エンゲル文庫	1,219	ドイツの統計学者であるエンゲル(Ernst Engel, 1821-1896)の旧蔵書。
古貨幣 コレクション	12,473	日本・中国・朝鮮・ベトナムを中心とする古代から現代までの貨幣コレクション。
古札コレクション	約25,000	日本・中国を中心とする紙幣コレクション。
大学院教育学研究科・教育学部図書室		
富士川文庫	174	医史学者、医学博士、文学博士であった富士川游(1865-1940)のコレクションのうち、江戸後期から明治期の教科書や教育関係資料。往来物のほか物語や教訓、絵本など。

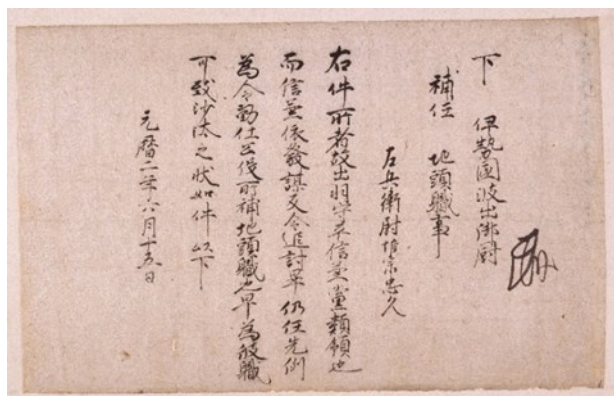


「先大津阿川村山砂鉄洗取之図」
鉾山絵図・絵巻コレクション(工3号館図書室)



「繪本武者鞋」富士川文庫(教育学部図書室)

薬学図書館		
薬史学文庫	約400	日本薬史学会より寄贈された薬史学関係の図書資料(教科書類、薬局方関係・薬学関係者の伝記、薬学史・医学史、図鑑・年表、社史・研究機関史類、博物館関係、学会誌類、薬史学の史料類など)
大学院情報学環・学際情報学府図書室		
小野秀雄コレクション	4,751	前身の新聞研究所の実質的な創設者である小野秀雄(1885-1977)が収集したかわら版、新聞錦絵、号外など。
東洋文化研究所図書室		
大木文庫	3,168	東洋文化研究所創設時に、北京在留の弁護士であった大木幹一氏(1881-1958)より寄贈された中国法制関係資料。
ダイバー・コレクション	487	ドイツのイスラーム研究者であるハンス・ダイバー氏(Hans Daiber, 1942-)が収集した、アラビア語を中心にしたイスラーム関係の写本など。イスラームの宗教、思想、歴史に関する重要な資料。
社会科学研究所図書室		
系井文庫	約10,500	職業紹介行政に携わった系井謹治(1895-1959)が収集した日本労働事情関係資料など。
極東軍事裁判記録	454	極東国際軍事裁判に関連する公判・弁護関係の資料。
島田文書	125	島田俊彦(1908-1975)旧蔵。旧日本海軍軍令部第六課(中国情報担当)関係の資料が主である。
史料編纂所図書室		
島津家文書	約9,500	〔国宝〕平安時代より江戸時代に至る薩摩藩島津家重代相伝の文書群。
宗家史料	約3,000	対馬宗家の江戸藩邸に伝来した史料。
裏松家史料	約1,000	江戸時代後期の故実家、裏松固禅(1736-1804)関連の史料。



「歴代亀鑑 源頼朝下文」
島津家文書(史料編纂所図書室)

 東京大学デジタルアーカイブポータル
UTokyo Digital Archive Portal

附属図書館、総合研究博物館、文書館、情報基盤センターが中心となって実施している「東京大学デジタルアーカイブズ構築事業」では、本学の部局・研究室等が所蔵する学術資産のデジタル化を推進し、「東京大学デジタルアーカイブポータル」を運用しています。このポータルでは本学のデジタルアーカイブのコンテンツを一元的に検索することができます。各図書館・室が所蔵するコレクション・文庫の一部も、このポータルで公開しています。

沿革

- 1877 東京大学創設
法・理・文・医学部を設置
神田一ツ橋に法理文三学部図書館を設置
図書館規則を制定
(医学部(本郷)には東京医学校から
引き継いだ書籍室があった)
- 1878 医学部に書籍展覧室を新設
- 1881 東京大学職制の改正に伴い、四学部図書館規則を東京大学図書館規則として統合
- 1884 法理文三学部の本郷移転に伴い、
法理文三学部図書館が本郷に移転
- 1886 帝国大学令公布。法・医・工・文・理の
5分科大学および大学院を設置
東京大学図書館を帝国大学図書館に改称
帝国大学図書館規則を制定
- 1888 明治政府の修史事業を帝国大学に移管
1895年に文科大学の所属となり、1929年
に史料編纂所と改称、1950年に大学附置
へ
- 1892 帝国大学図書館の建物が新築落成



図書館外観

- 1897 帝国大学を東京帝国大学に改称
帝国大学図書館を東京帝国大学附属図書館に改称
「館長」の職制制定
- 1899 図書館商議会設置・同規程制定
- 1900 経済統計研究室開設
(経済学図書館の源流のひとつ)
- 1906 医科大学薬学科図書室設置
(薬学図書館の源流)

- 1913 商業資料文庫開設
(経済学部資料室の源流のひとつ)
- 1918 東京帝国大学附属図書館規則改正
本館管理の下、部局の各教室・学科研究室
にも図書を備え付けることを規定
- 1919 帝国大学令改正により、分科大学を廃して
学部を置く
- 1923 関東大震災により附属図書館の建物が
炎上全壊、蔵書が焼失



附属図書館・図書館事務室及び書庫の残骸

国際連盟で東京帝国大学図書復興援助の
決議

- 1924 帝国大学附属図書館協議会創設
ジョン・ロックフェラー・ジュニア氏より附属図
書館復興のため400万円の寄付を受贈

- 1927 明治新聞雑誌文庫が法学部附属施設とし
て設置されることが決定
現在の法学部研究室図書室の建物
(法3号館)が完成

- 1928 附属図書館の新図書館竣工
12月1日を開館記念日とする



新図書館全景(西北方より正面を望む)

- 1929 明治新聞雑誌文庫が総合図書館に隣接す
る新築棟地階(現所在地)に移転

1944 附属図書館、法学部、史料編纂所で
～45 蔵書疎開が行われる
医学部(薬学科を含む)でも時期詳細は
不明ながら疎開の記録あり

1945 空襲により農学部の本造建物の大部分が
焼失、蔵書も失う

1947 社会科学研究所(前年8月設置)に書庫と
図書事務室を設ける
(現在の社会科学研究所図書室)

American Library Association(アメリカ
図書館協会)選定、ロックフェラー財団資金
提供により、戦時中の米英学術雑誌約150
種のバックナンバーが寄託されることにな
り、伝達式が行われる

帝国大学令等の改正
東京帝国大学を東京大学に改称

1949 国立学校設置法公布、新制東京大学創設
第一高等学校附属図書館が東京大学教養
学部図書室となる
同年5月に第一高等学校・東京高等学校が
東京大学に包摂され、東京大学教養学部と
なったことに伴う

1950 図書館商議会を図書行政商議会に改称

1953 新制東京大学大学院設置

1955 教育学部に図書室設置(現在の大学院
教育学研究科・教育学部図書室)

1958 薬学部図書室設置

1960 ロックフェラー財団より図書館改善のための
実態調査費および図書館幹部職員のアメリ
カ大学図書館視察費として約377万円を
受贈

1961 岸本英夫館長「附属図書館改善計画案」
発表
ロックフェラー財団より図書館機能近代化資
金8,460万円を受贈、附属図書館改装工
事を実施(1964年3月完了)

医学図書館開館
財団法人チャイナ・メディカル・ボードからの
25万ドルの寄付と国費、医学部・薬学部関
係者などからの寄付により医学部総合中央
館(現在の医学図書館建物)が竣工、医学
部内に分散して保管されていた図書を集約
全学総合目録(ユニオンカタログ)の
編成作業開始

1962 文学部図書室設置(現在の大学院人文社
会系研究科・文学部図書室)
図書館報『図書館の窓』創刊

1963 東京大学附属図書館基本規則制定
本館を総合図書館に改称し、附属図書館は
総合図書館と部局図書館からなることを
規定
東京大学附属図書館改善記念式典を挙行

1964 海洋研究所に図書室設置

1965 農学部図書館開館
(現在の農学生命科学図書館)
総合図書館が国連の寄託図書館となる
現在の経済学図書館の施設が完成する

1966 教養学部自然科図書室設置(現在の大学
院総合文化研究科自然科学図書室)

1967 教養学部教養学科図書室設置
新聞研究所附属新聞資料センター設置
(現在の大学院情報学環附属社会情報研
究資料センター)

1968 東大紛争により総合図書館封鎖
(翌年2月開館)

1969 外国雑誌一括購入業務の開始
教養学部図書館開館
1965年に国費による第1期工事部分が開
館、さらに募金による第2期工事で第1期部
分の増築及び一部改修と旧一高図書館の
全面的改修を行い、1969年6月竣工、同年
7月完全開館

1977 東京大学創立100周年

1982 裏田武夫館長「東京大学総合図書館改善
計画試案」発表
(1984年より改修工事着工)

1986 附属図書館電算化システム稼働
総合図書館と教養学部図書館において閲
覧業務を電算化し「図書館利用証」による
貸出の開始
OPAC検索サービスの開始

1987 総合目録(洋書)遡及入力開始
(～1990年3月:第1期)
バックナンバーセンター設置

1988 共同利用図書購入費の学内措置開始

- 1992 NACSIS-ILLシステム(学術情報センター)に参加
- 1993 UTnet(学内LAN)によるOPACサービス開始(OPACのインターネット公開)
- 1994 総合図書館、自動入退館システムを導入
東京大学附属図書館研究開発室を設置
- 1995 『東京大学総合図書館漢籍目録』刊行
遡及入力10年計画開始(第I期)
図書館Webサイト開設
- 1996 東京大学学位論文データベースサービス開始

薬学部図書室が薬学部資料館(現在の所在地)に移転、薬学図書館に名称変更
- 1997 附属図書館電子化事業開始
霞亭文庫のデジタル化実施

本郷・駒場キャンパス図書館・室間相互貸借のための集配サービス(キャンパスローン)開始
- 1998 大学院数理科学研究科(1992年設置)の図書室発足
- 1999 情報基盤センター設置
教育用計算機センター、大型計算機センター、附属図書館の一部を改組

Webブラウザに対応したOPACシステム公開

GACoS (Gateway to Academic Contents System) 公開
(現在のLiteracyサイト)
- 2000 電子ジャーナル導入試行実験開始
(2003年度から本格運用)
- 2001 Webリクエストサービス開始
(現在のMyOPACサービス)
- 2002 駒場図書館開館
教養学部図書館と8号館図書室(1996年教養学科図書室から名称変更)の資料を統合



駒場図書館

- 2004 東京大学附属図書館基本規則を制定
附属図書館は、総合図書館・駒場図書館・柏図書館・部局図書館からなることを規定し、運営原則を「共働する一つのシステム」とすることを明記

柏図書館部分開館

全学資料購入集中処理システムを暫定的に開始(12月より本格運用)

- 2005 柏図書館正式開館、自然科学系雑誌バックナンバーセンター設置



柏図書館

e-DDSサービス開始

ASKサービス試行開始
(2006年8月から正式運用)

キャンパス間返却サービス開始
遡及入力10年計画開始(第II期)

- 2006 東京大学図書館憲章の制定

工学・情報理工学図書館発足
工学系研究科と情報理工学系研究科の各専攻図書室を組織の上で統合

東京大学学術機関リポジトリ公開

SSL-VPN 試行サービス開始
(後に正式運用、2022年3月終了)

MyLibraryサービス開始
(現在のMyOPACサービス)

- 2007 全学共通経費による基盤的学術雑誌等整備開始(第I期)

UT Article Search, UT Article Linkサービス開始

- 2008 全学学生用図書費の恒常化

東京大学柏図書館友の会が発足

総合図書館再建80周年記念式典

- 2009 図書館間返送管理システム「楽返くん」が業務改善総長賞を受賞

- | | | | |
|------|---|------|---|
| 2010 | <p>大気海洋研究所図書室発足
海洋研究所の柏キャンパス移転、気候システム研究センターとの統合改組に伴う
キャンパスローンサービスの対象を拡大、学部学生も利用可能に
新図書館計画の検討開始</p> | 2018 | <p>理学図書館発足
理学部の複数の専攻図書室を統合
これにより附属図書館を構成する図書館・室が30館となる
総合図書館別館自動書庫の運用開始
総合図書館別館ライブラリープラザ
リニューアルオープン</p> |
| 2011 | <p>東日本大震災により多数の図書が落下・破損し、多くの図書館・室が一時休館
MyOPACサービス開始
新図書館構想推進委員会が発足</p> | 2019 | <p>東京大学学術資産等アーカイブズポータル公開</p> |
| 2012 | <p>全学共通経費による基盤的学術雑誌等整備開始(第Ⅱ期)
駒場図書館の「書架ナビ」が業務改革特別賞を受賞</p> | 2020 | <p>アジア研究図書館開館
新図書館計画として実施した総合図書館本館・別館の工事がすべて終了し、グランドオープン式典を開催</p> |
| 2013 | <p>新図書館計画における総合図書館別館の準備工事着工
総合図書館・東京大学史史料室(現在の文書館)所蔵「東京大学史関係資料」が重要文化財指定
図書館引越作業効率化ツール「図書館ひっこしらくらくキット」が業務改革総長賞を受賞(2015年度国立大学図書館協会賞も受賞)</p> | 2021 | <p>アジア研究図書館研究開発部門(RASARL)設置
全学共通経費による基盤的学術雑誌等整備開始(第Ⅳ期)
EZproxyサービス開始</p> |
| 2014 | <p>新図書館計画におけるアジア研究図書館の構想に基づき、アジア研究図書館上廣倫理財団寄付研究部門(U-PARL)設置
新図書館計画における総合図書館別館の本工事着工</p> | 2024 | <p>2023年度末時点で、附属図書館30館の蔵書数合計が1000万冊を超える
東京大学デジタルアーカイブポータル公開(東京大学学術資産等アーカイブズポータルをリニューアル)</p> |
| 2015 | <p>遡及入力10年計画開始(第Ⅲ期)
新図書館計画における総合図書館本館の工事着工
明治新聞雑誌文庫所蔵資料データベース「明探」が業務改革特別賞を受賞</p> | | |
| 2016 | <p>全学共通経費による基盤的学術雑誌等整備開始(第Ⅲ期)
東京大学学術資産等アーカイブズ委員会が発足
農学生命科学図書館「図書館ツアーのセルフ化に伴う業務削減と学生・留学生サービスの向上」が業務改革総長賞を受賞</p> | | |
| 2017 | <p>総合図書館別館ライブラリープラザ開館(改修工事中のため閲覧室として使用)</p> | | |



総合図書館別館 ライブラリープラザ



総合図書館別館 自動書庫

歴代館長

氏名	所属部局	任期		
末岡 精一	文学部準講師	1881.8.5	—	
田中 稻城	文学部準講師	1882.3.4	—	1882.7.22
谷田部 梅吉	理学士	1882.7.22	—	1883.12.11
松井 直吉	理学部教授	1883.12.13	—	1885.11
木下 廣次	法科大学教授	1886.3.9	—	1889.10.23
宮崎 道三郎	法科大学教授	1889.10.23	—	1890.3.24
田中 稻城	文科大学教授	1890.3.24	—	1893.9.6
和田 萬吉	文科大学教授	1893.11.7	—	1923.11.29
姉崎 正治	文学部教授	1923.11.29	—	1934.3.30
高柳 賢三	法学部教授	1934.3.31	—	1940.6.14
市河 三喜	文学部教授	1940.6.15	—	1946.10.4
高木 八尺	法学部教授	1946.10.5	—	1950.3.30
高木 貞二	文学部教授	1950.3.31	—	1953.4.9
末延 三次	法学部教授	1953.4.10	—	1960.3.31
岸本 英夫	文学部教授	1960.4.1	—	1964.1.25
伊藤 四十二	薬学部教授	1964.1.26	—	1969.3.31
松田 智雄	経済学部教授	1969.4.1	—	1972.3.31
今井 功	理学部教授	1972.4.1	—	1975.3.31
安藤 良雄	経済学部教授	1975.4.1	—	1978.3.31
藤原 鎮男	理学部教授	1978.4.1	—	1981.3.31
裏田 武夫	教育学部教授	1981.4.1	—	1985.3.31
山崎 弘郎	工学部教授	1985.4.1	—	1988.3.31
黒田 晴雄	理学部教授	1988.4.1	—	1991.3.31
清水 忠雄	理学部教授	1991.4.1	—	1994.3.31
開原 成允	医学部教授	1994.4.1	—	1996.3.31
六本 佳平	大学院法学政治学研究科教授	1996.4.1	—	1999.3.31
落合 卓四郎	大学院数理科学研究科教授	1999.4.1	—	2002.3.31
廣渡 清吾	社会科学研究所教授	2002.4.1	—	2003.3.31
小宮山 宏	大学院工学系研究科教授	2003.4.1	—	2005.3.31
西郷 和彦	大学院工学系研究科教授	2005.4.1	—	2009.3.31
古田 元夫	大学院総合文化研究科教授	2009.4.1	—	2015.3.31
久留島 典子	史料編纂所教授	2015.4.1	—	2018.3.31
熊野 純彦	大学院人文社会系研究科教授	2018.4.1	—	2021.3.31
坂井 修一	大学院情報理工学系研究科教授 未来ビジョン研究センター特任教授	2021.4.1	—	2024.3.31
		2024.4.1	—	



東京大学附属図書館ウェブサイト
<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp>



東京大学OPAC
<https://opac.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/>



UTokyo Repository (東京大学学術機関リポジトリ)
<https://repository.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/>



東京大学デジタルアーカイブポータル
<https://da.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/>



東京大学附属図書館

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1
E-mail kikaku@lib.u-tokyo.ac.jp

(2024年10月1日発行)